



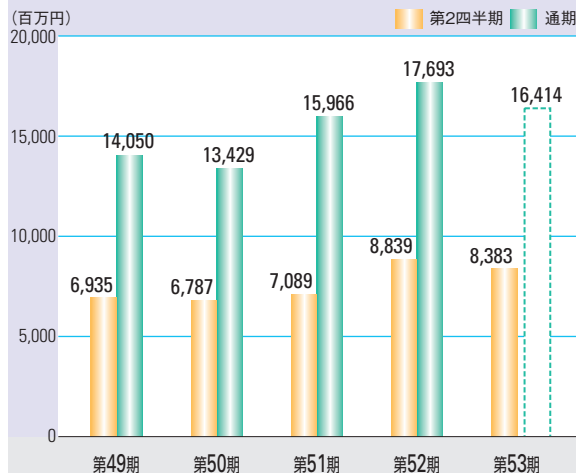
 **G.taste**
【株式会社ジー・テイスト】

第53期 中間事業報告書

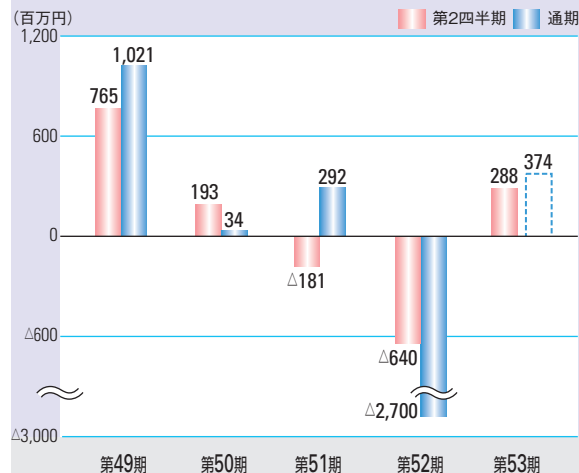
平成23年4月1日～平成23年9月30日

財務ハイライト

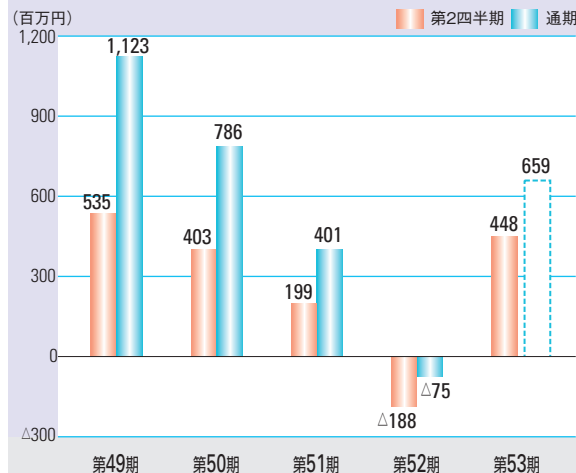
売上高



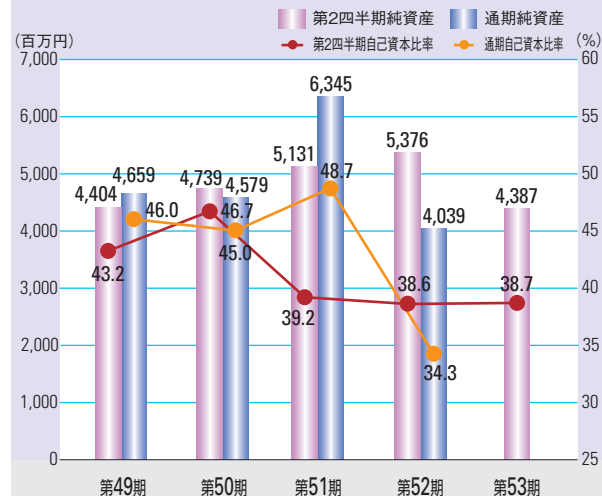
純利益



経常利益



純資産・自己資本比率



株主の皆様へ

■ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援御厚情を賜り心より御礼申し上げます。

未曾有の大震災より9か月が経ちました。なかなか進まぬ瓦礫処理問題、原発による放射能汚染問題、風評被害など、解決すべき問題が山積ではございますが、復興、復興へ向けて日本全体が一致団結していることは、私共、被災地のものにとりまして何よりの励みとなっております。

このようななか、当社におきましては、当第2四半期累計期間は当初の予想を上回る業績で推移してまいりました。また、震災で本社事務所の一部が崩壊しましたが、9月には無事新しい事務所に移転することができました。これも偏に株主様はじめお取引先様、お客様のお陰と感謝申し上げます。

「被災地に本社がある会社として、復興のシンボルとなれるような会社にGtasteを絶対しよう。」

復興はまだまだこれからでございます。当社もますます精進し被災地からの復興と業績改善に努めてまいります。

今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

稲 吉 史 泰

■経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済環境は、東日本大震災からの復興の途上であり復旧の遅れが目立つ部分もございますが、外食産業に直接的な影響を与える物資の流通・消費動向等に関しましては回復基調となっております。一方、欧米の経済不安がさらに深刻化したことから円がドルに対して史上最高値を付けるなど、今後の景気動向は一層、先行きが懸念される状況となっております。

このような状況のなか、当社では、被災地にある企業として復興の一助となるよう復興支援をテーマに掲げた「フェア」の開催など復興応援企画を実施するとともに、季節ごとのキャンペーンメニューやグランドメニューの充実をはかり、業績の回復に取り組んでまいりました。当初、東日本大震災の影響を受け来店客数の落ち込みにより売上高が減少したため、その後もしばらくは厳しい経営環境が続くと予想しておりましたが、震災地での需要が高まり、また物流の混乱や計画停電の影響も想定を下回り、業績は順調に推移いたしました。

さらに、収益力の改善を図るため、不採算店舗（寿司事業2店舗、居酒屋等事業19店舗）の撤退を前倒しですすめ、業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高83億83百万円（前年同四半期比5.2%減）、営業利益4億72百万円（前年同四半期は営業損失1億32百万円）、経常利益4億48百万円（前年同四半期は経常損失1億88百万円）となり、四半期純利益2億88百万円（前年同四半期は四半期純損失6億40百万円）となりました。

①寿司事業

寿司事業におきましては、特に震災後の需要の高まりを受け順調に推移しており、震災後休業しておりました基幹店舗も9月には再開し、「全店復活 復興祭」キャンペーンを実施いたしました。期間限定キャンペーンの「旬夏だより」、「新涼の陣」などお客様にご好評をいただき、懸念しておりました来店客数の減少も抑えられております。また、新しい取組みとして宅配専門店を出店（直営1店舗）いたしました。既存店舗での宅配寿司のエリア拡大とともに寿司事業の新たな柱として期待しており、徐々に売上高も伸びてきております。一方、直営店舗では不採算店舗のリストラをすすめており、2店舗が撤退し、1店舗が他業態へ転換いたしました。FC店舗では海外出店が1店舗ございましたが、国内では6店舗が撤退いたしましたので、当第2四半期累計期間末の直営店舗数は79店舗、FC店舗数は14店舗となりました。この結果、売上高29億89百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益（営業利益）3億16百万円（前年同四半期比208.2%増）となりました。

②居酒屋等事業

居酒屋等事業におきましては、収益力の改善を図るため不採算店舗の撤退を前倒しですすめ、19店舗を閉店いたしました。そのほか、業態転換1店舗、再開店1店舗がありましたので、当第2四半期累計期間末の直営店舗数は126店舗、FC店舗は286店舗となりました。主力業態である「とりあえず吾平」では「涼風おつまみメニュー」、「秋穫祭メニュー」など工夫をこらした季節メニューを導入し集客に注力いたしました。また、「ちゃんこ江戸沢」では夏期限定「ちゃんこ食べ放題」の導入やランチメニューを充実させたほか、「村さ来」では「ビアジャン祭り」、「Mura-1グランプリ2011」等お楽しみ企画を実施するなど、集客と顧客満足を目指して取り組んでまいりました。この結果、売上高48億60百万円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント利益（営業利益）4億93百万円（前年同四半期比289.9%増）となりました。

③教育事業

教育事業におきましては、当第2四半期累計期間末の直営校舎は40校舎となりました。震災の影響で減少した生徒数が未だ回復していませんが、英会話教室ではイベント実施や企業とのタイアップ等により順調に推移いたしました。学習塾では成績アップを重点目標とし、授業内容の充実を図り単価アップに取り組んでまいりました。この結果、売上高3億32百万円（前年同四半期比14.9%増）、セグメント利益（営業利益）55百万円（前年同四半期比82.8%増）となりました。

その他事業には、不動産賃貸収入等が含まれ、当第2四半期累計期間におきましては、売上高2億円（前年同四半期比42.9%増）、セグメント利益（営業利益）30百万円（前年同四半期比24.7%減）となりました。

通期の見通し

第2四半期累計期間の業績におきましては順調に推移したものの、今後の経済環境及び景気動向は、円高の影響や原発事故の影響など国内外の諸状況により先行きの不透明感が増しており、予断を許さない状況が続いております。第3四半期以降の業績については、引き続き、不採算店舗の撤退による収益力の改善を図りつつ、既存店舗において更なる商品の充実、サービスの向上をはかり売上高の確保を目指してまいります。以上により通期の見通しにつきましては、売上高164億14百万円（前事業年度比7.2%減）、営業利益7億6百万円（前事業年度比1713.2%増）、経常利益6億59百万円（前事業年度は75百万円の経常損失）当期純利益3億74百万円（前事業年度は27億円の当期純損失）を見込んでおります。

財務諸表

■ 四半期貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産	1,573	1,716
固定資産	10,190	9,625
有形固定資産	4,828	4,712
無形固定資産	823	775
投資その他の資産	4,538	4,136
資産合計	11,763	11,342
負債の部		
流動負債	4,242	3,904
固定負債	3,481	3,050
負債合計	7,724	6,954
純資産の部		
株主資本	4,038	4,386
評価・換算差額等	0	—
新株予約権	1	1
純資産合計	4,039	4,387
負債純資産合計	11,763	11,342

（注）記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)
売上高	8,839	8,383
売上原価	3,190	2,901
売上総利益	5,648	5,482
販売費及び一般管理費	5,781	5,010
営業利益又は営業損失(△)	△ 132	472
営業外収益	34	58
営業外費用	90	82
経常利益又は経常損失(△)	△ 188	448
特別利益	36	0
特別損失	337	86
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△ 489	362
法人税、住民税及び事業税	48	46
法人税等調整額	103	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 640	288

（注）1 第1四半期会計期間より、営業外収入に計上しておりました専売契約料収入及び不動産賃貸料収入を売上高に、営業外費用に計上しておりました不動産賃貸原価を売上原価に計上する方法に表示方法を変更いたしましたので、前第2四半期実績数値を遡及処理しております。

2 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月 1 日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 124	481
投資活動による キャッシュ・フロー	263	224
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 732	△ 534
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△ 593	171
現金及び現金同等物の 期首残高	276	611
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	474	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	158	783

（注）1 第1四半期会計期間より、営業外収入に計上しておりました専売契約料収入及び不動産賃貸料収入を売上高に、営業外費用に計上しておりました不動産賃貸原価を売上原価に計上する方法に表示方法を変更いたしましたので、前第2四半期実績数値を遡及処理しております。

2 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

当社の主な業態についてご紹介します

—— 当社は回転寿司、居酒屋並びに教育事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々、そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との共存共栄の実現を目指します。——



「美味しいお寿司を手頃な価格で楽しんでもらいたい」
創業から40余年、この想いは創業から変わっておりません。
私たちは回転寿司のパイオニアとの自負を持ち、一皿一皿に真心を込めてお客様にご提供しております。定番メニューの他に季節限定商品、店長のおすすめ、アラカルトなど四季を通じてバラエティー豊かな味がお楽しみいただけます。近年はより便利な宅配サービス（一部店舗のみ）の拡充を図り、売り上げの拡大を目指しております。



『とりあえず吾平』は多様な商品と良心的な価格で人気のダイニングレストランです。ヤングからミドル層、ファミリー層のニーズをつかみ業績を伸ばしております。人気の秘密は短いサイクルで行われる期間限定メニューの導入。120以上の店舗から販売データを集約し、季節ごとにお客様へ新しい魅力をお伝えしております。旨い！安い！早い！をモットーに現在200店舗を目指し展開中です。ぜひ、木のぬくもりに包まれたくつろぎの空間で吾平自慢の料理をお楽しみください。



当社の主な業態についてご紹介します



「酎ハイ」を生み出した居酒屋の老舗『村さ来』は今年で36周年を迎えました。北は北海道から南は九州まで、『村さ来』ブランドは全国に約180店舗を展開しております。

昔懐かしいつくりで落ちつく空間と心温まる接客、どなたでもお楽しみいただける安くて旨い定番メニューから彩り豊かな創作料理でお客様をおもてなしいたします。



伝統ちゃんこ鍋の自慢は、相撲部屋直伝のレシピに独自の改良を加えたこだわりの極旨スープです。鍋の中では、新鮮で安全な野菜をはじめ自然の恵みをたっぷりうけた鶏や

豚肉、フレッシュな魚介類など素材同士がゆっくりとそれぞれの味わいを醸しだします。鍋の中で繰広げられるこのコラボレーションはまさに絶品。健康でヘルシー、女性のお客様からも高い支持をいただいております。定番のちゃんこ鍋以外にもアラカルト・メニューも多数取り揃えてお客様のご来店をお待ちしております。





風情あるくつろぎの空間で美味しい旬魚刺身や創作和食はいかがでしょうか。こだわりの料理とお酒を気軽に楽しめるお店が『えん屋』です。鮮魚・本格焼酎・地酒・ワイン好きな方にお勧めです。和モダンでお洒落な店内となっており、ご利用人数に合わせて区切られた掘りごたつ個室が人気となっております。



海鮮問屋 地魚屋 ぢぎや

『地魚屋』は素材にこだわります。季節ごとの旬魚を使用した『地魚屋名物 大皿盛り』をはじめ、日本全国から探し求めた究極の旬の食材。熟練の料理人がこれら素材の味を前面に引き出します。広々とした店内には、人数に合わせてご利用できる様々なタイプの個室をご用意しております。心を許すお友達と珠玉のお時間をお過ごしください。



当社の主な業態についてご紹介します



日本各地の旨い鶏料理が集結するお店、それが『手羽藩』です。美味しいものがある場所に人は集い、笑顔があふれます。各地（藩）自慢の鶏料理を名物メガジョッキ（1リットル入り）と共に楽しみ下さい。料理のみならず、ゆったりとしたこだわりの空間が各雑誌、新聞などのマスコミに多数取り上げられております。ぜひ、一度お越し下さいませ。



全品300円均一とタッチパネルでのご注文、その気軽さが魅力の『てんてけてん』。自慢の一品の炭火でこんがり焼きあげた焼き鳥と創作和食など100種類以上のメニューをゆったり個室でお楽しみください。



■平禄寿司 9月1日完全復活！

先の震災により当社におきましても長期間の休業を余儀なくされた店舗が多数あり、その復旧が待たれておりました。

ようやく最後の平禄寿司仙台本店が9月に再オープンとなり、全店復活と相成りました。再オープン記念として全店で復活キャンペーンを行い、全店でそのご報告をさせていただきました。

たくさんのご支援、ご声援ありがとうございました。

■宅配寿司専門店1号店が仙台に9月オープン

平禄寿司の初めての試みとして、宅配寿司専門店は仙台市泉区にオープンいたしました。少人数、省スペースでの営業形態で通常店舗よりも利益率アップを目指しております。ご注文をいただいてから一貫一貫丁寧にお作りしたものをいち早くお届けするスタイルで、今一番美味しい旬のネタなど厳選素材を取り揃え注文をお待ちしております。立地に左右されない店舗展開がこれから期待されております。



■“店舗商品”のネット販売開始

当社のインターネット店舗「とりよせ市場」を5月に開店いたしました。お店の「あの味」、「あの商品」をご家庭で温めるだけの簡単調理でお楽しみいただくことができます。

第一弾は当社ブランドである「アントニオ猪木酒場」で提供しております“アントニオリブ”。肉の中でも一番旨みのある骨付き肉を秘伝の特製ソースに漬け込んだ、他では絶対真似のできない商品です。この他にも関連グッズ類を多数ご紹介しております。

今後も飲食店のノウハウを活かした商品を提供予定ですので、ご期待ください。



■ちゃんこ江戸沢 食べくらべ鍋をスタート

ちゃんこ江戸沢では新たに二槽鍋を導入し、1つの鍋で2つの味をお楽しみいただく楽しさをご提案しております。江戸沢自慢の6種類のスープからお好みで2種類チョイスいただき1つの鍋で食べ比べや、自分流の鍋をお楽しみいただけます。楽しみ方色々。是非、お鍋の美味しさ、楽しさをお近くの店舗で満喫してください。



■Mura-1グランプリ2011開催

お客様に食べて元気になっていただいて、少しでも日本を盛り上げていただきたいとの想いで、8月15日からMura-1グランプリ2011を開催。日本全国の村さ来従業員が考案したメニューを期間限定で提供いたしました。

■本社移転につきまして

当社は、東日本大震災発生時の被災を教訓に、天災発生時の本社機能の早期回復と、今後の事業拡大を見据え、交通利便性の向上と機能充実化を目的として、本年9月5日をもって本社事務所を仙台市若林区大和町より、同市宮城野区榴岡に移転いたしました。

今後は新事務所において、今まで以上に業務の拡大と充実化を図るとともに、東北宮城に本拠地を置く企業として、復興のシンボル企業となるよう、社業に勤しんでまいります。



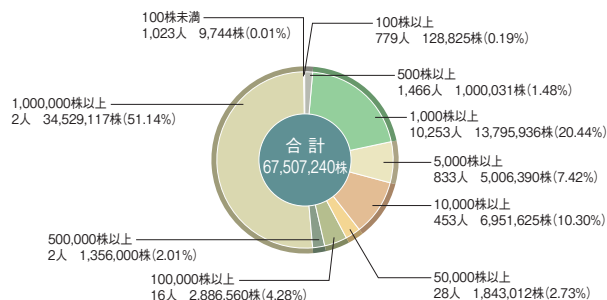
株式の状況／会社情報

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

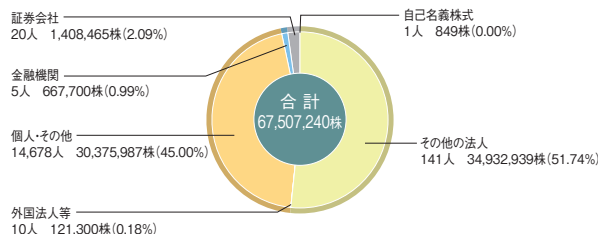
発行可能株式総数 120,000,000 株
発行済株式の総数 67,507,240 株
株主数 14,855 名
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社ジー・コミュニケーション ジー・テイスト取引先持株会	32,960,017	48.82
江川春延	1,569,100	2.32
株式会社SBI証券	729,000	1.08
マネックス証券株式会社	627,000	0.93
大阪証券金融株式会社	484,958	0.72
東金次	418,400	0.62
井深博光	219,100	0.32
ジオスコレーション株式会社	200,000	0.30
田中穰二	196,746	0.29
	155,000	0.23

所有数別株式構成比率



所有者別株式構成比率



会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号 株式会社ジー・テイスト
会社設立日 昭和34年11月25日
資本金 1,664,628千円
事業内容 1. 回転寿司店の経営
2. 居酒屋店の経営
3. 各種教室の経営
4. 関連商品の販売

役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	稲吉史泰
取締役副社長	川上一郎
取締役	伊藤雄一
取締役	扇正信
取締役	浜野幸也
監査役	星晴夫
監査役	小松正美
監査役	佐藤加代子

ホームページのご案内



ホームページ▼

<http://www.g-taste.co.jp/>

当社のホームページでは、第53期中間事業報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略など、様々な情報が掲載されています。是非、一度ご覧ください。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日

配当金の基準日 期末配当金 毎年3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-176-417

ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告方法 下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.g-taste.co.jp>

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

株式会社ジー・テイスト

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡2-2-10

TEL: (022) 762-8540 FAX: (022) 762-8541

ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste